

自動給餌機 **さんし郎**

KC型

取扱説明書

◆型式 **KC-20-S KC-40-S**
 KC-80-S

 **有限会社 松阪製作所**

〒596-0049
大阪府岸和田市八阪町2丁目2番38号
TEL 072-438-2666 FAX 072-438-2536
E-mail mtskltd@matsusakaltd.co.jp
URL <http://www.matsusakaltd.co.jp>

目次

1. はじめに
2. 安全上の注意
3. 安全銘板の貼付位置
4. 仕様
5. 構造・外形
6. 使用前の準備
7. 使用方法
8. 清掃と点検

この度は自動給餌機さんし郎 KC型を
お買い上げいただきありがとうございます。

1. はじめに

- この取り扱い説明書は、自動給餌機さんし郎KC型の使用上の注意事項について記載しています。ご使用前には、この取扱説明書を十分にお読みの上、取り扱い方をご理解いただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後も必ずお手元に保管してください。
- 本品を貸与又は譲渡される場合には、この取扱説明書を添付してお渡しく下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合には、速やかに当社または当社代理店にご注文ください。
- 本品は、予告なしに仕様変更をすることがあります。
- ご不明な事やお気づきの事などがございましたら、当社または当社代理店にお問い合わせください。

2. 安全上のご注意（表示の説明）

 警告	取扱を誤った場合に非常に危険な状況が起こりえて、死亡又は重症を受ける可能性が予想される場合。
---	--

 注意	取扱を誤った場合に危険な状況が起こりえて、障害又は軽症を受ける可能性や物的障害の発生が予想される場合
---	--

尚、注意に記載した事項でも重大な結果に結びつく可能性があります。

2-1 安全上のご注意（警告）

 警告	安全のために次の注意事項を守ってください。注意事項を守らぬ場合、重大な事故に結びつくことがあります。
---	--

- ケース内の点検・清掃は必ず電源を切り、差し込みプラグを抜いた上で行ってください。ケース内のフィダー羽根は、低速ですが、大変強い力で回転していますので指などはさまれた場合重大事故になる可能性があります。必ず電源を切ってから、ケース内の作業を行ってください。
- 散布羽根の点検や掃除の際にも、必ず電源を切ってから作業を行ってください。
- ケーブルを引張ったり、傷を付けたりしないでください。感電の恐れがあります。
- 運搬、設置、配線、運転、操作、保守、点検の作業は、専門知識のある人が行ってください。
- 保守、点検時は必ず、電源を切ってから行ってください。感電やけがなどの恐れがあります。
- 電源ケーブルのミドリ色の線はアース線です。第三種接地工事を行なった上、運転を行ってください。接地されていない場合、感電の恐れがあります。
- 法令による漏電遮断機を設置してください。漏電した場合には感電の恐れがあります。
- 給餌量調整つまみ、タイマーつまみは濡れた手で操作しないでください。感電や誤作動、動作不良の原因になります。
- 電源設備や配線工事等は、電気設備技術基準及び電力会社の内線規定に従ってください。安定した運転を安全に行なうには、的確な電源工事が必要です。
- 設置は本体ベースの取付孔を利用してネジ類等で確実に固定してください。通路、水槽へ落下すると機器破損は無論のこと大変危険です。また、万一、給餌機が水没の場合は使用不能となります。当社へご連絡・ご送付ください。

2-2 安全上のご注意（注意）

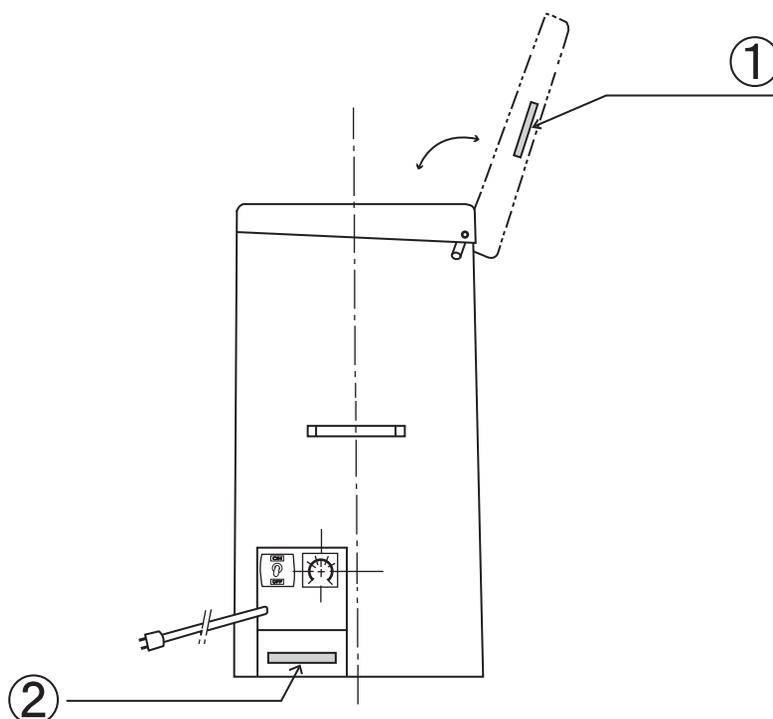
 注意	安全のために次の注意事項を守ってください。注意事項を守らぬ場合、事故や故障・破損の可能性があります。
---	--

- 散布ケーシング内及び散布羽根には、粉状餌料が付着します。定期的に掃除を行なってください。
- ケーブルの先端は、絶対に水に入れないようご注意ください。絶縁不良、漏電の原因になります。

3. 安全銘板の貼付位置

安全にご使用いただくために、下図の位置に安全銘版を貼付しています。万一はがれ落ちたり、読めなくなった場合は、必ず新しい物を貼付してください。

①	 警告		指づめ注意 ケース内の円すい盤は、大変強い力で回転しています。指など挟まれた場合、重大事故になる可能性があります。必ず運転を停止してから、ケース内の作業を行ってください。
②	 警告		感電注意 端子部や内蔵電気部品に触れたり、濡れた手でスイッチ類を操作すると、感電のおそれがあります。

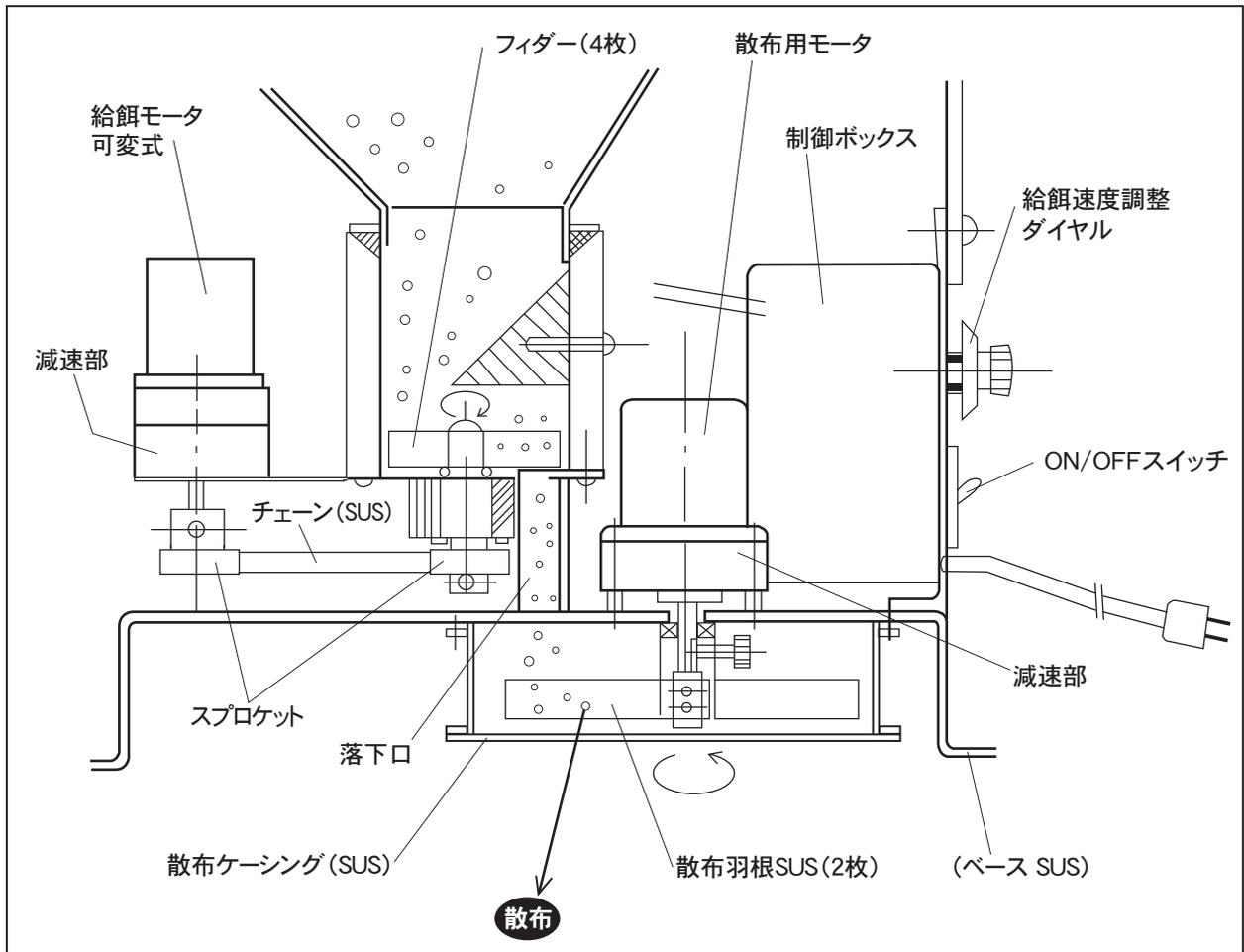


4. 仕様

型 式	KC-20	KC-40	KC-80
飼料ケース容量	約41ℓ	約82ℓ	約165ℓ
電 源	単相 100V		
餌 粒 径	φ12 ~ φ20 ドライペレット		
給餌調整方式	回転数制御（ボリューム調整）		
散布方式	回転散布羽根		
運 転 設 定	ON/OFFスイッチ		
ケーブル	約 1.9m（3芯）		

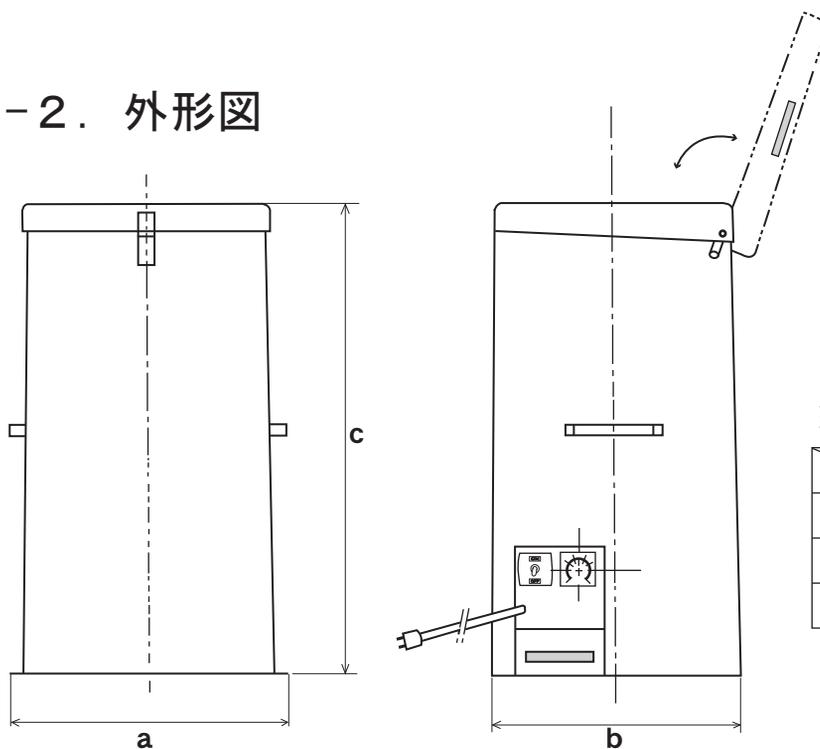
型 式	KC-BH BJ	KC-CH BJ	KC-DH BJ	KC-EH BJ
定 格 出 力	40W		50W	
給餌量(/時) 上段 最小 下段 最大 50Hz (60Hz)	1.0kg ~ 17kg (20kg)	2.4kg ~ 40kg (48kg)	6.0kg ~ 100kg (120kg)	10kg ~ 170kg (200kg)

5-1. 構造図



飼料はフィダーにより（可変とします）落下口に移送され、落下し、散布羽根により散布されます。給餌量の調整は、フィダーの回転速度の増減を調整ダイヤルにて行ないます。

5-2. 外形図



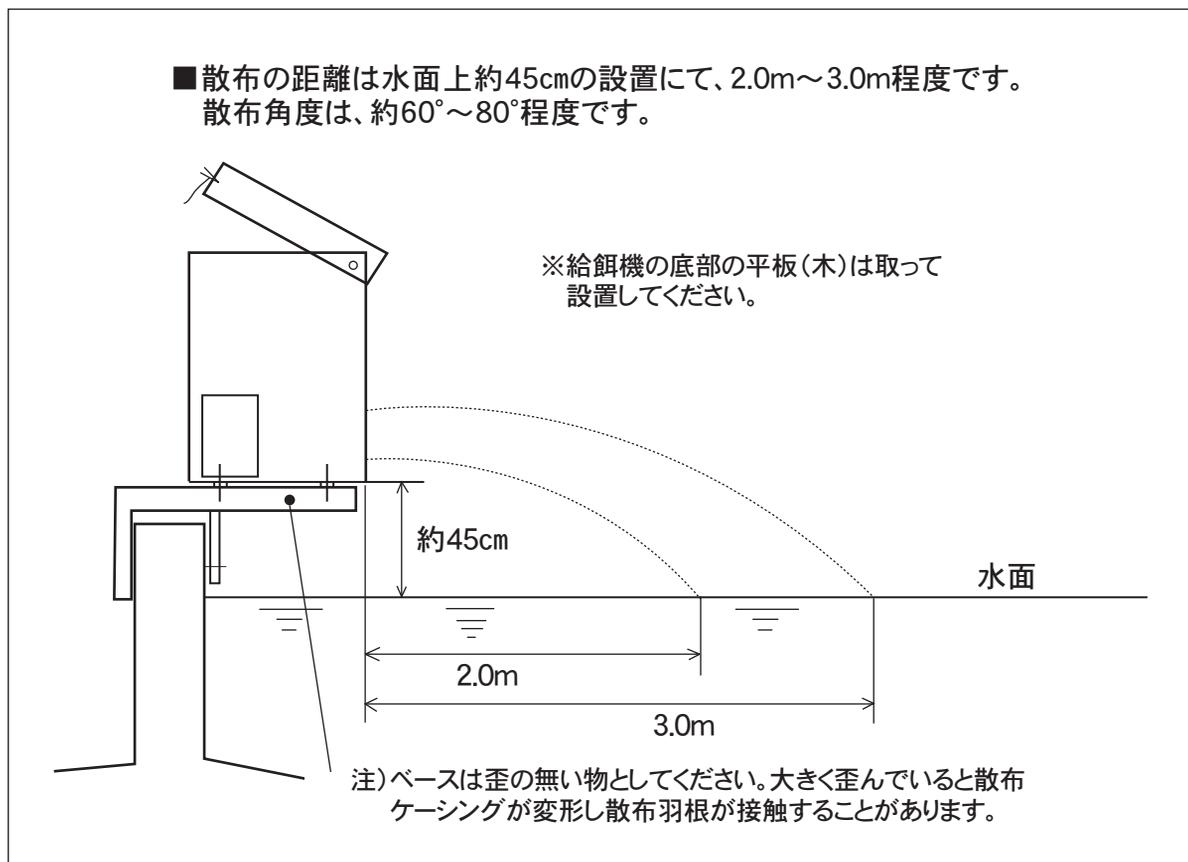
※寸法表

	a	b	c
KC-20	520	470	670
KC-40	520	470	870
KC-80	650	600	1000

6. 使用前の準備

据え付け上の注意事項

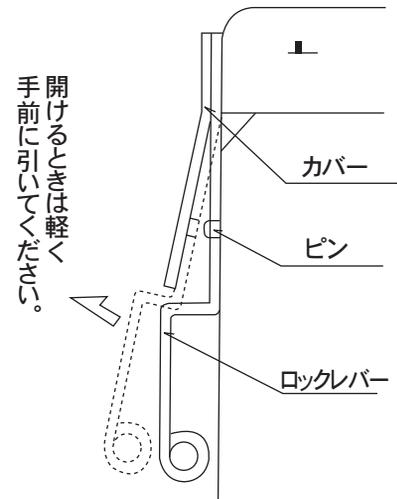
①給餌機は、下図の様に池面の上部にベースを設け設置してください。



- ②強風による被害を防ぐため、4ヶ所の設置用孔で取り付けの上、さらにロープ等を用いて、確実に固定してください。
- ③漏電ブレーカーを設けたコンセントを用意してください。
- ④アース（第3種設置工事）を行なってください。

7. 使用方法

- 1) 飼料ケースのフタを開き飼料を入れてください。フタは自動ロック方式です。ロックレバーなピンが入っていますので、開くときはレバーを手前に軽く引き、フタを開けてください。（右図参照）
閉めるときは、フタを持ち上げる様になると、スムーズに閉じる事ができます。フタの重さでロックレバーにピンがセットされますが、念のためにご確認ください。台風等の強風時には、フタが吹き上がらない様にロープや重しなどで対応してください。



- 2) 使用できる飼料は最小2.0mmの乾燥初期飼料から最大(最大部)12mmまでの乾燥固形飼料です。
- 3) 飼料ケース内に雨水やゴミ、砂などが入らないようにフタのロックレバーがピンにセットされているか、常に確認をお願いします。雨水などが大量に入ると、飼料がねばりもち、給餌能力の低下や、漏電、機械部品破損の原因となります。

4) 給餌量の調整

給餌速度調整ダイヤルで給餌速度の調整ができます。給餌速度は目盛り1から20まで(50HZの場合約17まで)目盛り数値にほぼ比例して増減します。ただし餌の種類や添加物などにより大きく変化することがありますので、一応の目安としてください。給餌量の目安は下図以降を参照してください。

なお、ON/OFFスイッチ仕様のため、運転時間の設定はできません。特注品として24時間タイマー(防雨ケース入り)付もごさいます。

5) 運転方法

- ①電源プラグを差し込む。
- ②飼料を飼料ケースに入れ、スイッチをONにする。
- ③しばらくすると飼料が散布されますので、給餌速度を適正な量に調整してください。

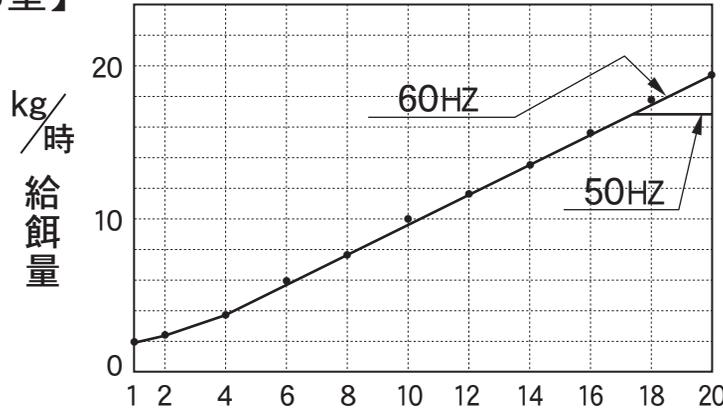
《注意》

空の飼料ケースに飼料を投入したときには飼料が通路を通過するまでに時間を要するため給餌機の運転開始後、飼料が散布され始めるまでしばらく時間を要する事があります。

■ 給餌ダイヤルの目盛と給餌量

※ 餌料により給餌量が異なりますので参考値としてください。

【KC-BH/BJ型】



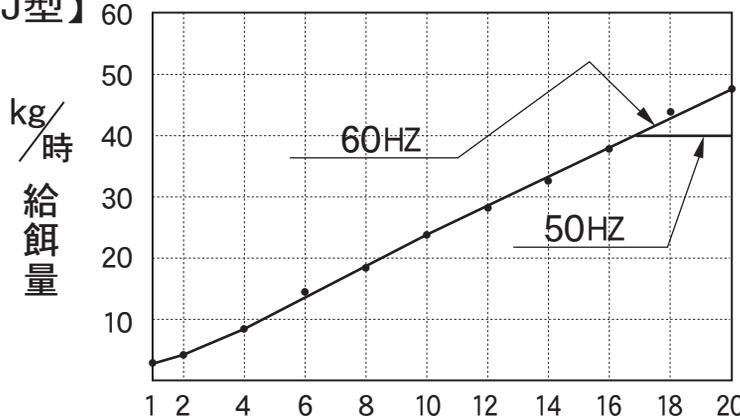
最少 約1.0kg/時

最大 60HZ・・・約20kg/時

最大 50HZ・・・約17kg/時

目盛

【KC-CH/CJ型】



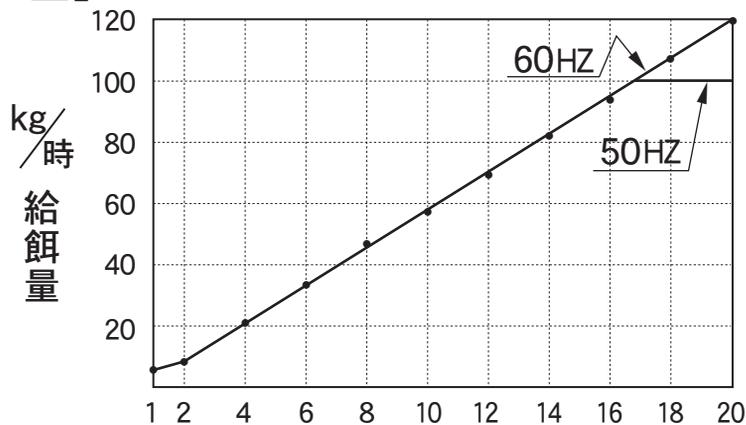
最少 約2.4kg/時

最大 60HZ・・・約48kg/時

最大 50HZ・・・約40kg/時

目盛

【KC-DH/DJ型】



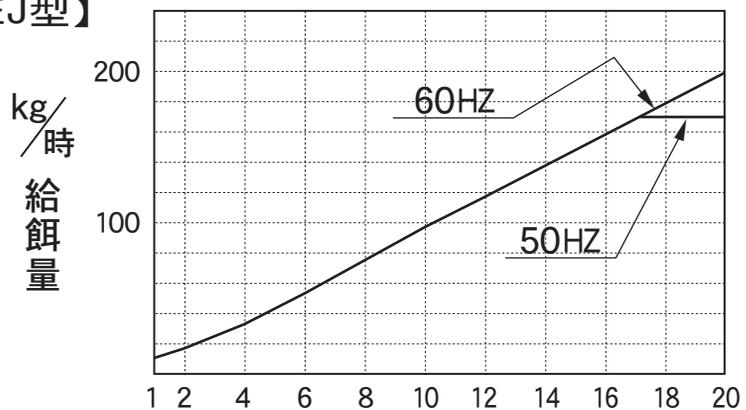
最少 約6.0kg/時

最大 60HZ・・・約120kg/時

最大 50HZ・・・約100kg/時

目盛

【KC-EH/EJ型】



最少 約10kg/時

最大 60HZ・・・約200kg/時

最大 50HZ・・・約170kg/時

目盛

8. 清掃と点検

1) 日常の清掃

本機の散布は回転羽根方式です。主に落下中の飼料が回転羽根に打ち飛ばされ、広角に散布されますが、この時、飼料によっては割れが発生し、粉ができます。電源を切ってから散布羽根及び散布ケーシング内を定期的に清掃をしてください。

2) 給餌を長期間休止する場合

電源プラグを抜いてから、飼料ケース内、散布羽根、散布ケーシングに付着した飼料をハケやブラシで払い落とし、清掃してください。その後、再び電源を入れ飼料通路に残った飼料もできる限り散布させてください。保管は、小動物（ネズミ等）が侵入しない様、段ボールに入れ、屋内で温度、湿度の低い場所に保管してください。

3) 定期点検

運転時間 1000時間毎、または3年毎に定期点検・整備をお勧めします。点検・整備は当社もしくは当社代理店にご依頼ください。